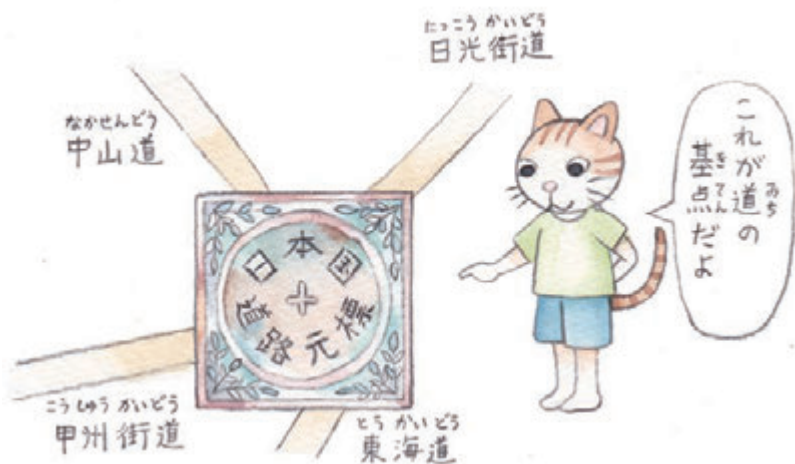


# 江戸時代の街道を歩く

ちゆうおうく にほんばし にほんこく どうろげんびよう  
 中央区にある日本橋のまんなかには「日本国道路元標」と書いた金属板がうめられている。ここは、江戸時代には、ぜんこく つう みち しゅっぱつてん どうかいどう なかせんどう にっ  
 全国へ通じる道の出発点だったのだ。東海道、中山道、日光街道、甲州街道。それぞれ最初の宿は、品川宿、板橋宿、せんじゅじゅく ないとうしんじゅく にほんばし よ かいどう ある たびにっき  
 千住宿、内藤新宿だ。日本橋から四つの街道を歩いて旅日記をつけてみよう。今はどんな様子だろう。江戸の名残がどこかにないだろうか、さがしてみよう。



## 読んでみよう

### 『楽しく調べる東京の地理』

p150～153 東京都小学校社会科研究会編著  
 日本標準 2007  
 978-4-8208-0284-6

### 『河合敦先生と行く歴史がよくわかる江戸・東京の本』

河合敦監修・著 小池真理絵・漫画  
 JTB パブリッシング 2011  
 978-4-533-08219-1

